山形県村山市 東沢バラ園

写真／福岡将之

森の深い緑と３つの湖に囲まれた美しいローズガーデン。毎年6 月上旬から9 月下旬にかけて、約750 品種、２万株を越すバラがあふれるばかりに咲き誇り、園内は優しいバラの香りで満たされます。そのすばらしい香りが評価され、平成13 年には、環境省から「かおり風景100 選」の認定を受けました。そして、このバラ園は、もうひとつ、とても素敵なボランティアさんたちの活動が注目を集めています。その活動とは？ さあ、ページをめくってみてください。

ノアメル
NOAmel

‘ノアメル ’は種苗登録名で、国内では「フラワー カーペット ローズ」シリーズの「アップル ブロッサム」の名前で流通することが多い。「フラワー カーペットピンク」の枝変わりで、元品種よりも淡く、落ち着いた色合いのピンクをしている。元品種の濃いピンクが混じる「絞り咲き」の枝変わり「ピンクスプラッシュ」もある。花つき、花もちがよく、散る間際には白っぽく褪色することで房の中にグラデーションが生まれ、革質の濃緑色な照り葉と絶妙なコントラストになって美しい。耐病性、耐候性に優れ、剪定もツツジの刈り込みのように形を整えるだけでよく、育てやすい。

photo : albert_sun 3

女子高生と歩く麗しのバラ園

制服姿が爽やかな女子高生たちが、バラ園を訪れたお客様たちをご案内しながら、バラの話をしています。女子高生は、山形県立東桜学館高等学校の生徒さんたち。10数年続いている高校生によるボランティアの園内ガイドです。この体験を通して、高校生たちはバラという世界共通の園芸文化を楽しみながら学び、自分の言葉で語り、大人たちと共有します。森と湖に抱かれた美しいバラ園でバラに触れた時間から、きっとこの若い世代のみなさんが植物と暮らす新しい「庭文化」が育まれていくことでしょう。
バラ解説は花フェスタ記念公園の西依 束さんです。

今日、いちばん美しく咲いているバラは何？女子高校生のみなさんのご案内で、さあ、バラ園散策を始めましょう。

「ボランティア高校生が園内ガイドを承ります。無料です（笑）」

山形県村山市「東沢バラ園」。昭和31に京成バラ園バラ研究所所長、鈴木省三さんの設計によって東沢公園が誕生。その後、数回に渡る拡張整備を経て、平成14年に現在のバラ園がオープン。

「原種のバラや園芸のバラ。いろんなバラがあって、特徴があって、それが名前に反映されているのがおもしろいです」

ダブル デライト
Double Delight

サクランボと柑橘を合わせたような、甘くスッキリとした香りが特徴的。早咲き性で日当たりを好み、日照が少ないとブラインドが多発し、発色も悪い。1976年の発表から 9年後に世界バラ会連合の「栄誉殿堂入り」を果たしている。他のバラが殿堂入りするまでに20年程度かかっていることから、当時、このバラが如何にセンセーショナルだったかが伺い知れる。

「このバラはダブル デライト。二重の喜びという意味です。反り返った赤と白の２色の花びらがかわいくて好きです。いい香り！」

「リオ サンバは、ホントにサンバを踊ってるみたいに華やかなバラです。咲き始めの黄色が、だんだん鮮やかなオレンジ色に変わっていきます」

リオ サンバ
Rio Samba

咲き始めは鮮やかな黄色が日に日に褪せるのと引き換えに赤みが増して、最終的にはくすんだピンクへと花色が移ろう。花つき、花もちに優れる。房の中でにぎやかに色変わりする様子を、リオのカーニバルに見立てて命名された。葉はやや波打って控えめな光沢があり、花をより鮮やかに見せる。

東沢バラ公園に近づくと、道路沿いの「リオ サンバ」の植栽が迎えてくれる。村山市はバラの街。

「ジャルダン ドゥ フランスは、花びらがすりガラスのように見えて、とってもきれい。公園の女性スタッフのみなさんの間でも一番人気のバラだそうです」

ジャルダン ドゥ フランス
Jardins de France

まるで造り物のような発色をするサーモンピンクの中輪花で、スカートのように少し波打っており、弁裏は銀粉をまぶしたようにやや白っぽい。テカテカで厚みのある照葉も‘造花っぽさ’を助長するが、耐病性が高く機能的。やや遅咲きで花つき、花もちに優れる。トゲの少ない直立性の樹形で、樹勢も強く、毎年、何本もシュートを立ち上げる。

「グリーン ローズは、花が緑色でびっくり。中国から伝わったチャイナローズだそうです」

グリーン ローズ
Green Rose

18世紀末～19世紀にかけて、プラント ハンターたちの手によって中国からヨーロッパに渡り、モダンローズの礎を築いた 4種のバラの一つとされる「オールド ブラッシュ」の枝変わり品種とされている。花弁やシベがすべて葉っぱに変化しており、稔性（生殖能力）がない。そのため、花もち？に優れ、1カ月近く鮮やかなグリーンを保つ。晩秋に咲く花は赤く「紅葉」したように色づく。病虫害に強く、無農薬栽培も可能。

「こちらは美智子様が皇太子妃だったときにイギリスのバラの会社から捧げられたバラです。ぱっと目を引くオレンジ色です」

プリンセス ミチコ
Princess Michiko

「皇室のバラが集められたコーナーに咲く、エンプレス ミチコです。1992 年、美智子様が皇后になられたときに、イギリスから贈られたバラです」

エンプレス ミチコ
Empress Michiko

左の２つのバラは、共にイギリスのディクソン社から美智子妃殿下に献呈された「ロイヤル ローズ」。「プリンセス ミチコ」は、ヒラヒラと可憐に波打つオレンジ色の花で、若く美しいプリンセスのイメージにピッタリな、見る者を元気にするビタミンカラー。直立気味の樹形で、トゲが多く、樹全体が赤みを帯びているのが特徴的。
「エンプレス ミチコ」は、淡いアプリコットクリームの花色で、お人柄を可視化したかのように温かく、優しさを感じる。春は数輪の房咲きで、以降は単花で咲くことが多い。大人の腰丈以下のコンパクトな株姿。

西依 束（にしより つかね）

大阪府出身。岐阜県在住。大阪府立園芸高校卒業。千葉大学園芸学部卒業。2011年から、花フェスタ記念公園のバラ管理に従事。趣味は釣りと、高校時代に始めたバラの育種。妻と息子２人、娘２人の６人家族。

ターボ
Turbo

ローズピンクの半剣弁咲きで、すぐに平咲きとなる。雄シベから、ツンとした粉っぽい香りを放つが、花弁はほとんど香らない。葉はルゴサ系らしい深いシワがありながら、艶やかな照り葉。耐病性、耐候性共に抜群で、無農薬でも難なく生育し、花ガラを放置しても実がつかない。この系統はトゲの多さで知られるが、当品種はその中でも最強クラスの密度、丈夫さを誇り、生垣にすれば防獣フェンスに使えそうなほど。全身を武装するトゲは管理する人間でさえもひるむ。

女子高生と歩く
麗しのバラ園

パールピンクのつるバラは、ニュードーン。新しい夜明け、という意味です。

今日、園内ガイドをしてくれている女子高校生たちも、15年まえにはこんなに小さな女の子。元気にバラ園を駆けまわっていたことでしょう。

photo : albert_sun 3

ニュー ドーン
New Dawn

透明感のあるパールピンクの中輪花が房咲きとなり、花つきに優れるが、花もちは悪く、まだ水々しい花弁を潔く散らせる。実つきがよいため、花ガラ切りは欠かさない。枝は細く柔軟性が高いため、細やかな誘引も可能。花枝が垂れて咲くことを逆算して枝を配置すると、花が重なり合わず美しい。やや遅咲き。濃緑色の厚い照り葉で、耐病性に優れ、日陰でも旺盛に生育する。交配に多用され、後のツルバラやイングリッシュ ローズ等のシュラブ ローズの発展に大きく貢献し、まさに「新しい夜明け」という意味の名前がふさわしい。「栄誉殿堂入り」品種。

「このバラ ‘むらやま’が誕生した1999年は、ちょうど私たちが生まれた年です。同い年のバラだから、特別な思い入れがありますね」

「東沢バラ園に来られたお客様に、ぜひ見ていただきたいのが、この村山市オリジナルのバラ ‘むらやま’です。バラ交流館の近くに植わっているので、見つけてくださいね」。村山市では専用の畑で「むらやま」を無農薬で栽培し、それを原料とするバラワインを開発。

むらやま
Murayama

1999年、市制施行 45周年を記念して発表された。作出は京成バラ園芸。「ハイウェイ ローズ」と「ボニカ ’82」の交配によって生まれたバラで、国内育種による修景バラの走りといえる品種。樹は両親よりかなりコンパクト。弁底が白く抜ける紫がかったローズピンクの半八重で、灰緑色の独特な照り葉。香りは淡い。

満開のバラ園を女子高生たちと歩けば、楽しさ倍増！

「山形県の東沢バラ園では、高校生たちがボランティアでバラ園のガイドをしています。オールドローズや原種のバラについても、高校生たちの解説がとてもみごとで、思わず聞き入ってしまいました」

そんな心躍る情報に導かれて、編集部がお訪ねしたのは2017年6月11日の朝。山形県の中央部に位置する村山市の東沢バラ園は、ちょうど見頃を迎えています。制服姿が爽やかな女子高生に、さっそく園内の案内をお願いしました。

「まず最初にまわるこのあたりは、日本で作出されたバラのエリアです。名前もぜんぶ日本名がついています」。高校生たちの丁寧な解説を聞きながら歩くバラ園散策は、楽しさも倍増。7ヘクタールにも及ぶ広い敷地をもつバラ園を効率よく巡るうえでとても頼りになります。

このバラ園で園内ガイドのボランティアをする生徒さんたちの学校、山形県立東桜学館高等学校は、県内初の中高一貫教育の学校として2016年に東根市に開校したばかりの新設校です。その前身の県立楯岡高等学校は、東沢公園の近くにあって、校内にたくさんのバラを咲かせていたそうです。その光景を見て村山市在住のバラ愛好家、山岸守さんは、高校生によるバラのボランティアを提案、楯岡高等学校の先生方の協力と生徒会、村山市の賛同を得て、園内ガイドの活動が10数年前に実現しました。新設の東桜学館高等学校では、生徒課の菅睦子先生のもと、バラ園のガイドのボランティアが引き継がれています。園内ガイドに備える勉強会は、毎年、前述の山岸さん他、村山市のバラ愛好家のみなさんが引き受けます。勉強会に参加した高校生たちは、ガイドに必要なバラの知識を、あっというまに覚えてしまうのだそうです。

そんな高校生のみなさん自身は、バラのどんなところに興味を引かれるのでしょう？

「バラって赤くてこんな形、というイメージが私の中にあったのですが、園内を見てまわると、これがバラ？ というのがたくさんあって、おもしろいです」「園芸用のバラと原種のバラ。園芸用のバラも、とてもいい匂いがしました」「青いバラがあるというのを聞いて、来てみると、ここでちゃんと咲いていて感動しました」

昼が近づくにつれて、お客様の人数も刻々と増え、園内ガイドのテント前には、ガイドを望むお客様が列をつくり始めます。そろそろ取材も完了。さあ、高校生のみなさんに、最後の質問です。

「バラ園のガイドのボランティアを、やってみてどうですか？」

即座に、弾むような返答が口々に返ってきました。「やって、よかったです！」「お客様たちに喜んでもらえて、よかったです」「すごーく楽しいです」

満開のバラ園で晴れやかに笑いさざめく女子高生たちは、まるで咲いたばかりのバラの花のようです。

美しい湖を背景にもつみごとな景観が東沢バラ園の魅力。心地よい風が通り抜ける開放感に心も身体もリフレッシュ！

ローズドームを左に曲がって、アンダーパスから先はオールドローズのエリアです。数千年の昔から、人々の暮らしを彩ってきた長いバラの歴史と文化が薫り立ちます。

カーディナル ドゥ リシュリュー
Cardinal de Richelieu

寒冷地ほど、深い発色を示す濃赤紫のロゼット咲きで、開ききる頃にはやや灰色がかって青みを帯びる。花弁の基と裏は白っぽい。数輪の房咲き性で、ダマスク系のはっきりとした芳香を感じる。花枝が短く、枝も柔らかいため、誘引すれば構造物のラインをきれいに描くことができる。冬場に短く切り詰めて、自立させることも可能だが、花数は減る。ザラザラしたガリカ系特有の葉で、春先のうどん粉病に気をつけたい。

「オールドローズは、1800年代までの品種で、原種に近い丈夫なものが多いそうです。このカーディナル ドゥ リシュリューは、甘くて濃厚な香りがします」

いろいろなオールドローズがゆったりと枝を伸ばして自然樹形で育つ。品種ごとの本来の特性を楽しめるエリア。

矢萩千紗さん（右）と安喰あゆみさん（左）は、高校３年生。千紗さんのお気に入りのバラはエンプレス ミチコ。あゆみさんが好きなバラはロサ グラウカ。「祖父母がバラを育てています」

「湖のそばのオールドローズのエリアは、とっても気持ちがいいです。香りがよくて、自由な感じで咲いているバラが多いです」

プティット リゼット
Petite Lisette

薄ピンクの花びらが幾重にも折り重なって、中心部の花弁はシベを抱えるように内側に向かって巻き上がり、端正なボタン・アイを形成する。蕾の萼は‘飾萼’と呼ばれる葉っぱの名残が造形的で、花開く前から鑑賞性があり、ダマスク系の強く、甘すぎない香りがトドメとなって見る人を悩殺する。オールドローズのもつ美しさが、ゴルフボール程のこの小さな花の中に具備されている。２、３輪の房咲き性で、開花時は花の重みで枝が弓なりにたわむ。葉はカサカサしたマットな質感だが、触れると柔らかい。

ロサ ルビギノサ
Rosa rubiginosa

よく似た「ロサ カニナ」と比較し、特徴的な違いは、若葉や未成熟の果実を擦ると青りんご様の香りがする点で、雨風で樹が揺れるたびにあたりに芳香が漂う。鋸歯がはっきりした小葉の大きさはほぼ均一で、やや光沢があり、ザラザラした触感をしている。鉤状の鋭いトゲは枝の元にいくほど、密度が濃く、若い茎は粉を吹いたように白っぽい。食用に加工される種だが、「ロサ カニナ」とそれぞれ分けて作ったジャムを食べ比べたところ、本種は舌触りが悪く、食味が劣った。

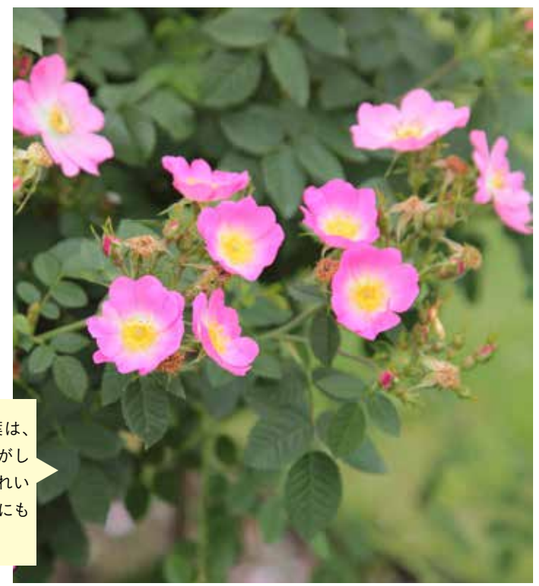
「ロサ ルビギノサの葉は、こするとリンゴの香りがします。秋の赤い実もきれいなので、またぜひ、秋にも見に来てください」

「シャポー ドゥ ナポレオンは、ガクの形がナポレオンの帽子に似ていることからついた名前だそうです。とてもよい香りです」

シャポー ドゥ ナポレオン
Châpeau de Napoléon

直訳すると「ナポレオン皇の帽子」という意味になり、彼が没した 6年後の 1827年にフランスで紹介されている。萼縁が細かく分岐して異様に横広がりになった蕾を、「三角帽子」と呼ばれるツバが反り返った、特徴的な形の帽子に見立てて命名されたようだ。映画「パイレーツ オブ カリビアン」の主人公が被る帽子もそれと同じ。「ロサ ケンティフォリア」または、それに近縁なバラからの枝変わりと思われ、「モス」にクラス分けされることもあるが、一般的な「モス」品種より、松ヤニのような香りと粘りの液を出す「線毛組織」が発達しているわけではない。濃厚なダマスク香を放つ優しいピンクの豊満なロゼット咲きで、２、３輪の房咲きになる。枝振りは荒く、自然樹形ではまとまりに欠くため、何かに誘引するか、強めに剪定して木立状に仕立てたほうが扱いやすい。この萼の特徴的な姿を取り込んだ交雑種の作出も試みられている。

女子高生と歩く
麗しのバラ園



環境省認定「かおり風景 100選」

2万株のバラが薫る 山形県村山市

東沢バラ公園

東沢バラ園は7haの敷地に世界各国の約750品種、20,000株のバラが咲き誇る日本有数規模のバラ公園です。３つの湖と森林に囲まれた自然豊かな環境にあり、平成13年にはバラ公園として唯一、環境省より『かおり風景 100選』に認定されました。冷涼な気候のもと、ひと際美しく咲くバラに会いに、年に2回の「バラまつり」の開催期間中にぜひ訪ねたいバラ園です。

左上・中／湖を背景にオールドローズの咲くエリア。
左下／バラの香りが漂う園内。
右上／写真中央に見えるローズドーム。その左奥に見えるログハウスが「バラ交流館」。

バラ交流館。展示棟と喫茶コーナーがあり、バラまつり開催期間中は東沢公園名物バラソフトの販売が行われます。

東沢バラ公園

バラまつり	**2018年 6月 1日(金) ～ 7月 8日(日)** （秋のバラまつりは 9月中旬から下旬頃）
開園時間	午前 8時 30分～午後 6時
入園料	大人 600円・小中学生 300円 団体 15名以上　大人 500円・小中学生 200円 ＊バラまつり期間中のみ入園料が必要。 ＊開花状況により有料期間・時間が変更になる場合があります。 ＊バラ公園では、車イスやベビーカーを無料で貸し出しています。ご利用の際は、正面出入口にある事務室にお問い合わせください。
住所	〒 995-0023 山形県村山市 楯岡東沢 1-25
問合せ	村山市商工観光課 TEL.0237-55-2111
アクセス	●電車で／山形新幹線村山駅で下車。村山駅より車で5分。徒歩 20分。 ●車で／東根 I.C.より車で 20分。山形空港より車で 15分。160台の無料駐車場完備

東沢バラ公園周辺の観光

村山の名物はバラと蕎麦とさくらんぼ

真のそば処、村山で
山形そばの真髄を味わう

県内の「そば街道」発祥の地といわれる村山市。13軒のそば屋で、おいしいそばをハシゴしませんか？

観光さくらんぼ村で、
旬のおいしさにびっくり！

村山の「さくらんぼ」は日本一。6月～ 7月には観光果樹園で摘み取り体験も。

＊他、最上川を眺める源泉掛け流しの露天風呂・温泉プールのある多目的温泉保養館「碁点温泉」など、村山市は観光スポットが豊富。